☆全ての工場・職場・学園・地域に
安保粉砕の大衆行動委員会をつくれ！
☆大衆行動委員会の中に実力防衛隊を組織せよ！
☆基地包囲・街頭制圧・工場占拠・
学園占拠のゼネストで安保を粉砕せよ！

前衛

（毎月10日・25日発行）
発行「前衛」編集委員会
発行人　杉村　宗一

連絡先　振替「東京44589番　前衛社」
郵便〒166 杉並局私書箱第一41－2
電話〔神奈川局気付〕前衛編集委員会
TEL（391）7301

購読料（年共）
1部　20円
20回　400円

★安保ゼネストをプロレタリア日本革命の
突破口とせよ！
★資本家政府打倒・米軍追放・沖縄人民解放
労働者人民権力の樹立・労働者人民の武装！

10.21を反戦反安保の街頭制圧闘争へ！

大船電車区占拠・日大団交勝利を突破口に 基地闘争、職場学園闘争を闘いぬき 10・21へばく進せよ！

一、9・20国労大船電車区占拠、9・30・日大団交勝利の意義

全国の労働者学生諸君！
日本の階級闘争は、10・21国際反戦闘争に向けて巨大な前進を遂げている。
9・12闘争にはじまった今秋闘の国鉄合闘争は、9月20日、横浜支部所属書記長逮捕をきっかけにして、遂に大船電車庫での大衆的占拠闘争へと発展した。
昨年末の全逓ゲバ闘争、本年四月の国鉄反合闘争に始まった実力闘争闘争は、官憲の弾圧をきっかけにして遂に職場反戦闘争へと転化し始めたのだ。
これだけがこれではない。
学園占拠闘争から街頭制圧へと発展し、これに続いて日大闘争は、9月20日、機動隊が書記長逮捕をきっかけにして遂に職場反戦闘争へと発展した。
昨年末の全逓ゲバ闘争、本年四月の国鉄反合闘争に始まった実力闘争闘争は、官憲の弾圧をきっかけにして遂に職場反戦闘争へと転化し始めたのだ。
これだけがこれではない。
学園占拠闘争から街頭制圧へと発展し、これに続いて日大闘争は、9月20日、機動隊が書記長逮捕をきっかけにして遂に職場反戦闘争へと発展した。
9・12闘争にはじまった今秋闘の国鉄合闘争は、9月20日、横浜支部所属書記長逮捕をきっかけにして、遂に大船電車庫での大衆的占拠

プロレタリア日本革命と学生戦線における革命党の任務

一、プロレタリア日本革命と学生戦線

A 学生大衆の階級的性格

一九六八年二月十日のドル・金防衛の事実上まったく戦後帝国主義の世界危機、おわりをの世界危機の深化のなかで日本階級闘争が戦後ブルジョア支配体制の大盲問題である日米安保問題をむかえつつあるという事情は、きたるべきプロレタリア日本革命における学生戦線の地位を確認することを、しかし、現代日本における学生の階級的位置確認することが必要である。

そのためには、現代日本における学生大衆の階級的位置確認することが必要である。

今日の日本には百万の青年学生と二五〇万の大学生および短大生が存在する。

戦前日本では、大学、高等学校に在学する学生大衆の大部分は、中間層――独立営業者からなる旧中間層――の出身者であった。

だが、第二次世界大戦とその戦後インフレ期を経て中間層階級は崩壊し、プロレタリア化し、中小独占層は独自の階級としては消滅した。

また、五八年代中期以降の高度成長をつうじて農民その他の独立営業者の階層分解が進行した。したがって、今日の日本の学生大衆の大部分はかつてのような中間層からはプロレタリア階級の一翼をなすものとなっている。

本来後の戦争先の独立的大部分はプロレタリア階級の学生大衆の圧倒的大部分はプロレタリア階級がせいぜいその一翼にすぎない。

独立営業者層が学生についていえば、今日の日本の学園はかつてのようにプロレタリア階級に転落する一大貯水池となっているのである。

以上の事実は、今日の日本の学生大衆の圧倒的部分が、プロレタリア階級であることを明確にしている。

B プロレタリアの学生戦線の一部としての学生戦線

このことは、今日の日本の学生運動がプロレタリア階級運動の一部分外のなにものでもないことを示している。

このことはまがい、今日の日本の学生運動が本来の労働運動からは切り離されたその特殊な一翼を構成するものとなっている。

また第二に学生大衆は、直接の生産過程――搾取過程――にあるプロレタリアではなく、これからそこには入りこまなければならぬプロレタリアの、学問への他の生活費の大部分を家族の負担に依存している意味で、学生大衆を直接に支配・統制しているのは、資本の直接の代理人としての職制ではなく、プルジョアイデオロギーの説教人としての教師であり、プルジョア教育と学問秩序である。

したがって第三に、学生大衆を直接に支配・統制しているのは、資本の直接の代理人としての職制ではなく、プルジョアイデオロギーの説教人としての教師であり、プルジョア教育と学問秩序である。

戦前日本では、大学、高等学校に在学する学生大衆の大部分は、中間層――独立営業者からなる旧中間層――の出身者であった。

だが、第二次世界大戦とその戦後インフレ期を経て中間層階級は崩壊し、プロレタリア化し、中小独占層は独自の階級としては消滅した。

また、五八年代中期以降の高度成長をつうじて農民その他の独立営業者の階層分解が進行した。したがって、今日の日本の学生大衆の大部分はかつてのような中間層からはプロレタリア階級の一翼をなすものとなっている。

本来後の戦争先の独立的大部分はプロレタリア階級の学生大衆の圧倒的大部分はプロレタリア階級がせいぜいその一翼にすぎない。

独立営業者層が学生についていえば、今日の日本の学園はかつてのようにプロレタリア階級に転落する一大貯水池となっているのである。

以上の事実は、今日の日本の学生大衆の圧倒的部分が、プロレタリア階級であることを明確にしている。

C プロレタリア日本革命と学生ソビエト

きたるべき、プロレタリア日本革命の主力は、いうまでもなく、プロレタリア階級である。

その同盟軍は半プロレタリア階級であり、今日の日本の農民大衆の圧倒的部分はこれに入りこまれている。

これらの、農業機械やその他の農業の独立営業者からなる小プルジョア階級は、中立化の対象となるにすぎない。

あるいは、せいぜいかれらプルジョア階級はそれが反独占反政府闘争に起上るかぎりにて、プロレタリア階級がプルジョア変配に打撃をあたえるためにそれを利用するというにすぎない。

だがこれらの、学生大衆の大部分は、プロレタリア日本革命のたんなる同盟軍でもなければその一部分――その特殊な構成部分を形成する。

学生大衆の圧倒的大部分はプロレタリア階級自身にかくし、したがって学生戦線は今日、日本のプロレタリア階級戦線の特殊な一部分からなるこのことは、学生戦線が、たんに面の請願や、ストライキ、ボイコットなどの、学生ソビエトが樹立されなければならぬことをいみする。

だが、学問者本隊のばあいはこれとちがって、この学生ソビエトは学生大衆全体を包括するものとなり、プルジョアの切り捨てられた学生ソビエトが樹立されなければならぬことをいみする。

だが、学問者本隊のばあいはこれとちがって、この学生ソビエトは学生大衆全体を包括するものとなり、プルジョアの切り捨てられた学生ソビエトが樹立されなければならぬことをいみする。

これらの、学生ソビエトは、プロレタリア日本革命における、プロレタリア階級の、学生戦線における、プロレタリアの